

ハニーブラック

登録番号：第3944号	永田賢嗣	吉永勝一	岸 光夫
登録年月日：平成6年3月14日	松本亮司	小澤俊治	角 利昭
登録者：農林水産省果樹試験場（茨城県 つくば市藤本2-1）	平林利郎	角谷真奈美	佐藤明彦
育成者：山根弘康 栗原昭夫 山田昌彦	来	歴：「巨峰」の自殖実生	

特性

■栽培特性

樹勢は強く、「巨峰」なみであり、新梢の伸びは旺盛である。樹冠の広がりも「巨峰」と同程度である。幼梢先端は薄赤色で綿毛が密生している。葉の大きさは「巨峰」なみの大きさであり、葉形は五角形、五片葉で、葉柄裂刻は開き、上裂刻は閉じている。成葉の上面は濃緑色で、下面は淡灰色、下面の綿毛はわずかで、「巨峰」よりも少ない。葉柄の色は淡紅で「巨峰」なみである。熟梢の色は暗褐色で、登熟は容易である。テレキ5BB台木では、中程度の台負けが認められる。花芽の着生は良好で、1新梢当たり2花穂を着ける。花穂は大きく、有岐型で、「巨峰」なみの大きさである。花は両性花である。開花期の早さは、品種の中では中位で、「巨峰」とほぼ同時期である。花振るいは「巨峰」より強い。緑色小果粒が着きやすい。

■果実特性

大粒の黒色ブドウであるが、「巨峰」より1～1.3g程度果粒が小さい。着色は極めて容易で、西南暖地でも容易に黒色に着色する。果粉が著しく多く、果房の色は青黒色に見える。果粒形は短楕円形である。

肉質は「崩壊性」と「塊状」の間で「巨峰」に近いが、「巨峰」よりも硬く、優れている。「巨峰」よりも2%程度糖度が高いのが特長で、適熟期の酸含量は0.5%程度、「巨峰」に似たフォクシー香（アメリカブドウの香り）があり、渋味はなく、食味は優れている。果皮は厚く、裂果はほとんど見られない。果粒中の種子数は平均1.5粒程度で「巨峰」と同程度である。果皮と果肉が離れにくい欠点がある。果実成熟期は東海以西では「巨峰」とほぼ同時期であり、瀬戸内沿岸地方では8月中～下旬である。常温で日持ちする期間は短く「巨峰」なみである。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

親の「巨峰」の性質を強く受け継いでおり、黒とう病、晚腐病、べと病、灰色かび病などのブドウの主要病害に対する抵抗性は中位で、「巨峰」と同程度である。

ジベレリンなどによる種なし栽培法は、まだ確立されていない。種あり栽培として「巨峰」に準じた管理を行えば良いが、花振るいは「巨峰」より強いいため、いっそうの弱せん定が必要である。

■地域適応性

全国の「巨峰」栽培地域で栽培可能である。耐寒性は、青森県畑作園芸試験場および岩手県園芸試験場大迫試験地による調査では、「巨峰」なみか「巨峰」よりやや強いとされている。

(山田昌彦)